

議第10号議案

加計学園獣医学部新設に関わる疑惑の徹底解明を求める意見書

上記議案を別紙のとおり提出いたします。

平成29年6月16日提出

提出者	新座市議会議員	芦野	修
賛成者	〃	笠原	進
	〃	高邑	朋矢
	〃	平松	大佑
	〃	塩田	和久

提案理由

加計学園獣医学部新設に関わる疑惑の徹底解明を求めるため、この案を提出する。

加計学園獣医学部新設に関わる疑惑の徹底解明を求める意見書

学校法人「加計学園」（岡山市）が経営する岡山理科大学が来年４月に愛媛県今治市に開設を計画している獣医学部の新設をめぐって、同学園理事長と「腹心の友」の関係にある安倍首相の関与が疑われています。獣医師が足りているにも関わらず、「国家戦略特区」という仕組みを使って、５２年ぶりの獣医学部の新設が認められ、この計画には３７億円の公有地が無償で提供され、加えて９６億円もの補助金が予定されています。

しかし、マスコミの報道や国会での追及などによって、国家戦略特区による獣医学部の新設が「加計ありき」だった疑いが強まり、新たな獣医学部の新設に難色を示していた文部科学省（以下「文科省」という。）に対して、首相サイドから様々な働きかけがあった事実が関係者の証言などで明らかになりつつあります。中でも、当時、文科省の事務次官だった前川喜平氏が記者会見を行い、獣医学部の新設計画について総理府から文科省に対して「総理のご意向」「官邸の最高レベルが言っている」と要求していた記録文書を「本物」と認めるとともに、どんな獣医師がどの程度必要なのかの見通しすら示されないまま獣医学部の新設について特例を認める結論が出てしまった経過を詳細に明らかにしました。

この前川氏の証言について、菅義偉官房長官が記録文書を「怪文書」と決めつける一方、前川氏に対する人格攻撃に終始したことは、真相解明に背を向けるもので、到底国民の理解と納得を得られるものではありません。最新の世論調査でも、加計問題についての政府説明について「納得できない」という回答は７割に上っています。

よって、本議会は「森友問題」と併せ、加計学園問題について前川氏らの証人喚問を含め国会において徹底した調査を行い、真相を解明するよう強く要望します。

以上、地方自治法第９９条の規定により意見書を提出する。

２０１７年６月 日

埼玉県新座市議会

内閣総理大臣 様

文部科学大臣 様